



化学物質と私たちの暮らし

— 健康で環境にやさしい生活をおくるために —

2026



1 化学物質を知ろう

2 環境中への排出量を知ろう

3 埼玉県の排出量を知ろう

4 暮らしの中で
私たちにできること

5 環境コミュニケーションで
理解を深めよう

6 もっと知りたいとき

【参考】パンフレット中に掲載された化学物質について

1 化学物質を知ろう

◆ 化学物質の便利な性質と有害な性質

私たちの身の回りにあるものは、全て化学物質からできています。

化学物質は「便利な性質」だけでなく、「有害な性質」を併せ持っています。

例えば、食塩は味付けや生命維持に必須ですが、摂取しすぎると高血圧などの病気になることがあります。



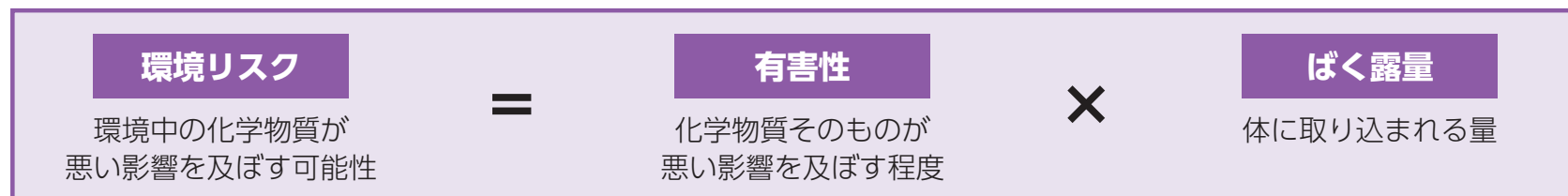
化学物質は我々の便利で快適な生活には欠かせないものですが、「便利な性質」だけでなく「有害な性質」もあることを理解し、正しく取り扱う必要があります。

◆ 化学物質の環境リスク

化学物質は生産から廃棄されるまでの様々な過程で、大気や河川などの環境中に排出されています。

環境中に排出された化学物質は、私たちの健康や動植物に悪い影響を及ぼす可能性があります。

これを「環境リスク」と呼びます。



環境中に化学物質が多く排出されるほど「ばく露量」（体に取り込まれる量）が増えるため、「環境リスク」が高まります。

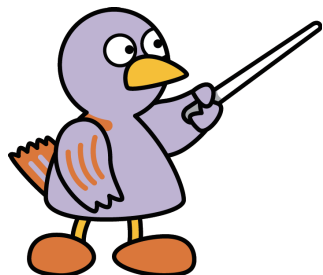
化学物質は事業所（工場など）からだけではなく、自動車や家庭からも環境中に排出されています。

まずは化学物質がどのくらい環境中へ排出されているか知ることから始めましょう

2 環境中への排出量を知ろう

◆ 排出量を知るためには

大気や河川などの環境中に排出された、人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質の量（排出量）を知るためには、PRTR 制度で公表されたデータを活用する方法があります。PRTR データを活用することにより、日頃から関心のある化学物質や健康に影響のありそうな化学物質について、その種類や排出源、排出量等を具体的に知ることができます。



埼玉県マスコット「コバトン」

PRTR 制度とは

PRTR とは Pollutant Release and Transfer Register（化学物質排出・移動量届出制度）の略称です。人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質（515物質）について、事業者が、事業所から環境中に排出された量（排出量）などを自らが把握・国に届出をし、国が届出データや推計に基づき、PRTR データとして集計・公表する制度です。

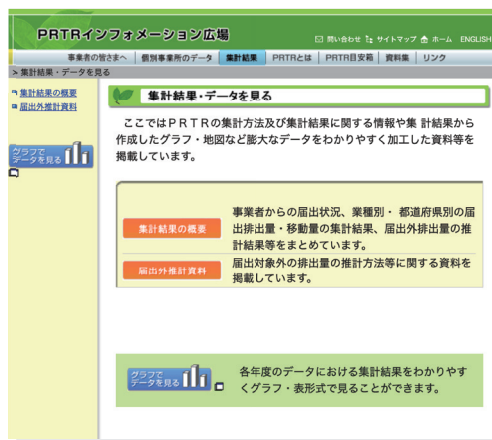
◆ PRTR データの調べ方

環境省のホームページから PRTR データやその集計結果を調べることができます。

● 集計データを入手するには

環境省「PRTR インフォメーション広場」

タイトルをクリックすると HP に移動します。



PRTR データの閲覧や検索ができ、集計結果のファイルをダウンロードすることも可能です。

グラフや表形式によりデータ集計結果を閲覧することも可能です。

● 事業所ごとのデータを調べるには

環境省「PRTR データ地図上表示システム」

タイトルをクリックすると HP に移動します。



PRTR 制度により届出のあった全国の事業所のデータを閲覧できます。

事業所は地図上に表示することができるため、自宅の周辺など興味のある地域を絞って閲覧することが可能です。

3 埼玉県の実排出量を知ろう

◆ 埼玉県の実排出量

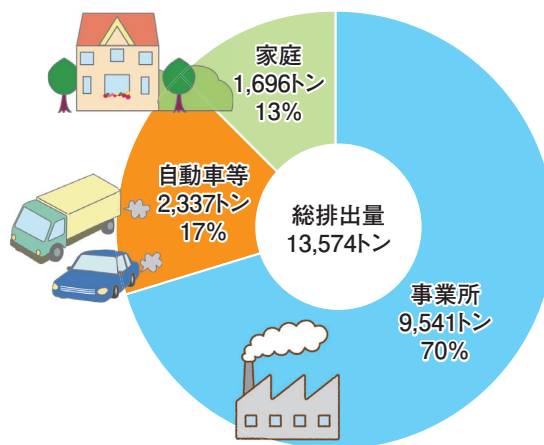
2023年度に埼玉県で環境中に排出された化学物質の量は **13,574 トン** でした。これは、全国で愛知県、北海道、静岡県、東京都に次いで5番目に多い量です。

排出源別では事業者からの排出が全体の70%を占め、一番多くなっています。

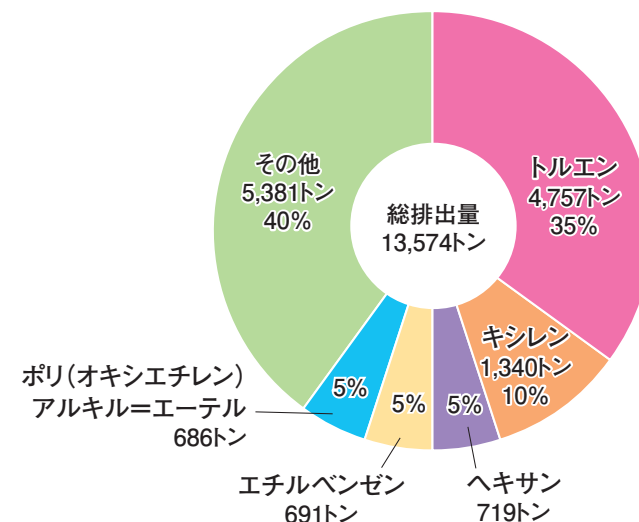
化学物質別では塗料やインキの溶媒、そして燃料中にも含まれるトルエンの排出が一番多くなっています。

化学物質名にカーソルを乗せると、各化学物質の性質等が表示されます。

● 排出源別の排出量（2023年度）



● 化学物質別の排出量（2023年度）



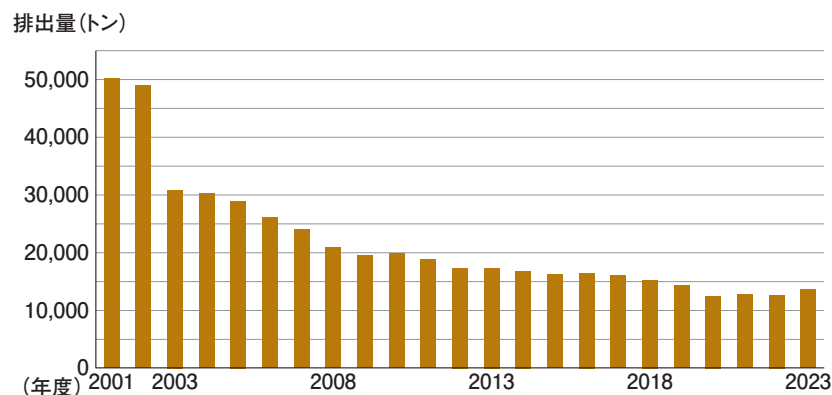
◆ 排出量の推移

埼玉県の化学物質の排出量は、PRTR 制度が発足した 2001 年度と 2023 年度を比べると、約 73%減少しています。

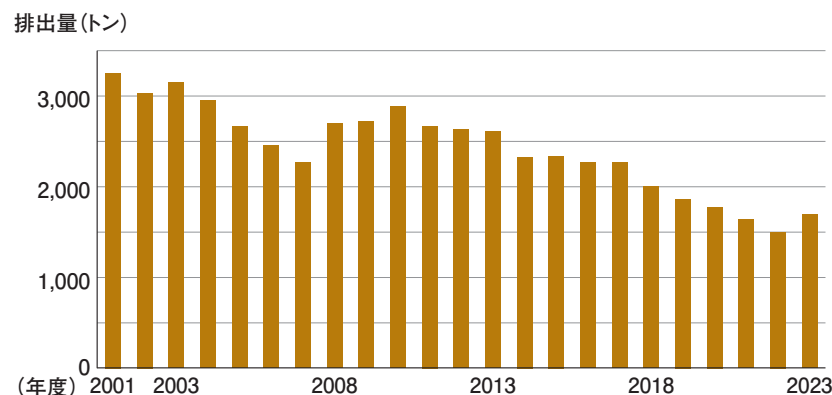
排出量が減少した理由は、事業者が自主的に化学物質の排出削減に取り組んできたことが挙げられます。

一方、家庭からの化学物質の排出量は、PRTR 制度が発足した 2001 年度と 2023 年度を比べると、約 48%しか減少していません。

● 埼玉県の排出量（事業者、家庭、自動車の合計）



● 家庭からの排出量



化学物質の排出量を減らすには私たちに何ができるか考えてみましょう。

4 くらしの中で私たちにできること

◆ 家庭から排出された化学物質

埼玉県 の 2023 年度の家庭からの排出量は **1,696 トン** でした。家庭からの排出量としては全国で愛知県、千葉県について第3位です。

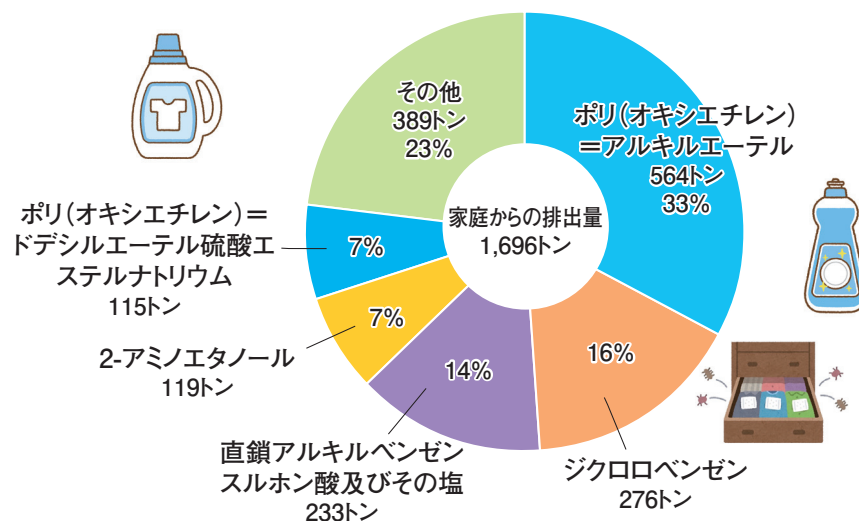
特に、合成洗剤などに使用されるポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテルや、衣料用防虫剤に使用されるジクロロベンゼンなどが多く排出されています。

洗剤や防虫剤の他に、塗料、殺虫剤、たばこの煙などからも化学物質は排出されています。

◆ くらしと環境リスク

モノを「買う」、「使う」、「捨てる」などの行動に、私たちが気をつけていくことで、地域全体の排出量を削減し、環境リスクを減らすことができます。

● 家庭からの排出量（2023年度）



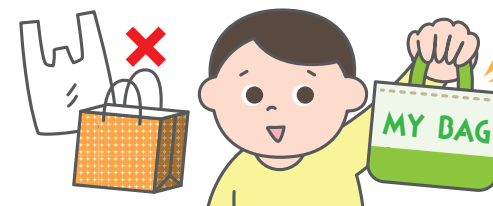
買うとき

- ☑ できるだけ環境負荷の小さい製品を購入する

環境負荷の小さい製品には以下のようなものがあります

- ・リサイクル可能な製品
- ・リサイクルされた原材料を使用した製品
- ・修理やリフォームが可能で、長く使える製品
- ・詰め替え用など、ごみが少なくなる製品
- ・環境中で分解されやすい製品（石けんなど）
- ・地元の食材（輸送距離が短く、自動車等からの排気ガスが少ない）
- ・旬の食材（栽培に必要な燃料等の使用・排出量が少ない）

- ☑ 必要な分だけ購入する
- ☑ マイバッグを持参する
- ☑ 環境ラベル・製品の表示などを参考にする



環境ラベルとは、商品やサービスがどのように環境負荷低減に貢献するかを教えてくれるマークや目印のことです。

(例)



エコマーク
ライフサイクル全体で環境負荷が少ないと認められた製品・サービスの目印です。



グリーンマーク
原料に古紙を規定の割合以上利用していることを示す目印です。

環境負荷の小さい製品を選ぶことは、事業者の環境意識を高めることにもつながります。

使うとき

- ☑ 製品の表示をよく読み、正しく使用する
- ☑ 防虫剤や合成洗剤、柔軟仕上げ剤は、適正量を使用する



使いすぎは環境負荷の増加や無駄につながります。



化学物質過敏症（ページ下の欄参照）の方のように化学物質に敏感な人に対して配慮をしましょう！

- ☑ 掃除では、汚れの種類により重曹やクエン酸を使用する
- ☑ 食器を洗うときは、新聞紙やぼろ布などで汚れを落とす



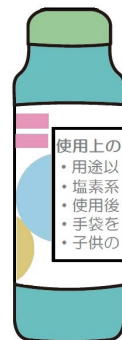
汚れが少なければ洗剤の使用量が少なくなります！

捨てるとき

- ☑ ごみは識別マークなどを参考に分別する
- ☑ ごみは市町村のルールに従って捨てる



製品の表示例



品名：商品の種類

用途：使う目的

品名 洗濯用合成洗剤
用途 綿・麻・合成繊維用
液性 弱アルカリ性
成分 界面活性剤（27%、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、アルキル硫酸エステルナトリウム、純石けん分（脂肪酸ナトリウム））水軟化剤（アルミノけい酸塩）アルカリ剤（炭酸塩、けい酸塩）蛍光増白剤、酵素

正味量 2.2kg

使用量の目安

洗濯機	洗濯機 の大きさ (kg) (表示の洗濯容量)	水量の目安 (高水位)	使用量の目安
洗濯機 (全自動・ 二槽式)	5.5～4.5 4.2～3.6 3.3～2.8 2.5～2.0	55リットル 45リットル 40リットル 35リットル	37g (山盛り) 30g (水45Lの線) 27g (水40Lの線) 20g (すりきり1杯)
手洗い		4リットル	3g (料理小さじ1杯)

使用上の注意

- ・子供の手が届くところに置かないこと
- ・用途外に使用しないこと
- ・万一飲み込んだり、目に入ったりした場合には応急処置を行い、医師に相談すること

〇〇××株式会社
東京都千代田区〇〇町××番地
TEL 03-9999-9999

表示者：表示した者の「氏名又は名称」及び「住所又は電話番号」

液性 (pH)：
中性・酸性・アルカリ性

成分：
化学物質の名前

使用量の目安：
どのくらいの量を
どのように使うか

使用上の注意：
使うときに気をつ
けなければい
けないこと

洗剤のラベルは、家庭用品品質表示法という法律に基づいて表示されています。消費者が商品の購入をする際に、適切な情報提供を受けることができるように制定されました。

化学物質過敏症について

一般の人が有害な影響を受ける量よりもはるかに少ない量の化学物質によって、頭痛・発熱・鼻炎・動悸・倦怠感などの様々な症状が起こることを化学物質過敏症といいます。化学物質過敏症は、発症の仕組みが解明されておらず、治療法も確立されていません。化学物質過敏症の症状は、大きな個人差があります。日常で使われるような化学物質が、空気中にわずかな量で存在するだけでもつらい症状が出る場合があります。

化学物質過敏症への理解を深め、芳香性のある柔軟仕上げ剤や化粧品などは、適正な使用方法を守るとともに、人が集まる施設や学校などでは周囲への配慮が大切です。

5 環境コミュニケーションで理解を深めよう

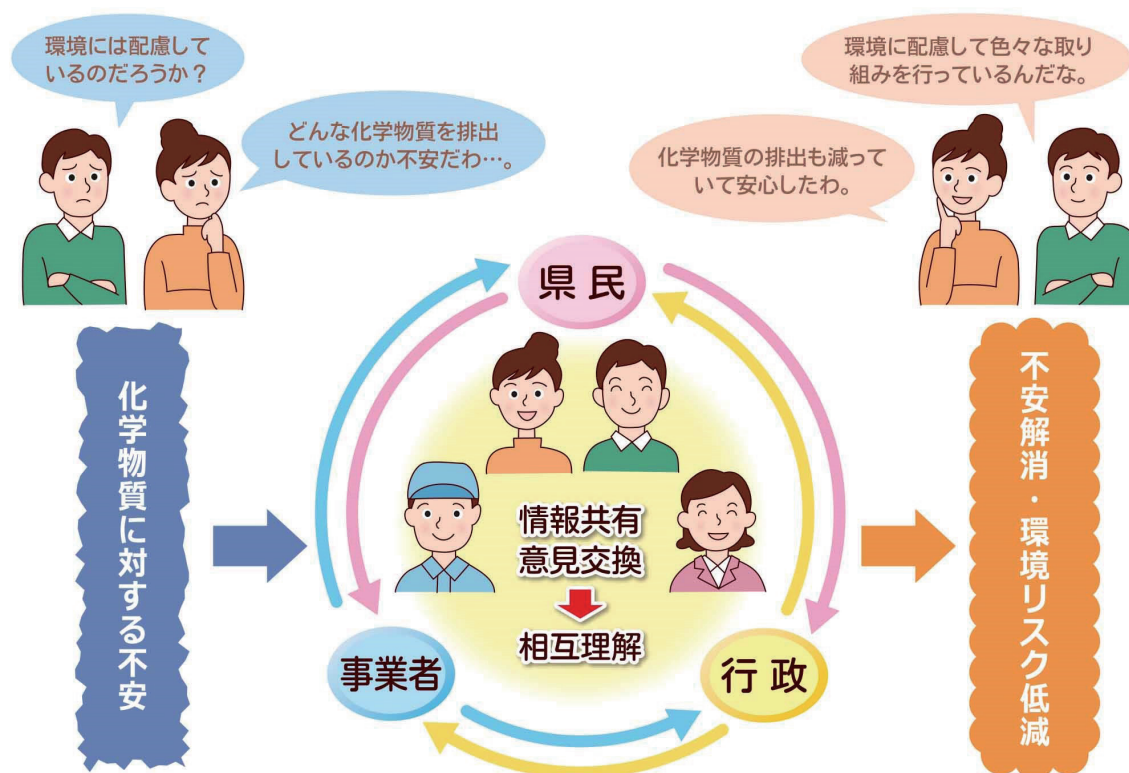
◆ 環境コミュニケーションとは

「環境コミュニケーション」とは県民・事業者・行政が化学物質などに関する情報を共有し、理解を深めるために行う意見交換会のことです。

「環境コミュニケーション」は、事業者が一方向的に説明したり、県民が事業者を糾弾したりする場ではありません。意見交換を通して、お互いに理解していくために開催するものです。

◆ 環境コミュニケーションを実施すると

- 身近な工場がどんな化学物質を使用しているか、どのような管理をしているか、環境についてどんな取り組みをしているかを知る機会になります。
- 普段から疑問に思っていることや事業者の説明の内容について質問することで、お互いに理解を深めることができます。
- 事業者にとっては近隣住民の考えが分かり、その後に行う環境活動や環境対策の参考にすることができます。



事例紹介 日産化学株式会社

開催年月日 2025年3月18日（火）

開催場所 日産化学株式会社 埼玉工場（上里町）

事業者の声 今年度は地区長と行政の方々をお招きした地域交流会の開催をいたしました。今回は、工場活動内容の説明、工場見学、意見交換を行いました。工場活動の説明におきましては、工場の歴史と設備、生物多様性保全への取り組み、農薬製剤と農薬成分の飛散防止対策について紹介いたしました。

県内開催事業所 [左の画像をクリックすると、他の事例をご覧いただけます！](#)



6 もっと知りたいとき

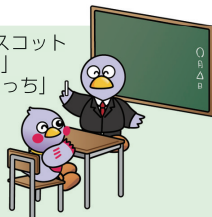
◆ 県政出前講座

県政出前講座とは、埼玉県の職員が地域で行われる集会や団体の会議、学校の授業などにお伺いし、県の事業や皆様の生活に関係の深いテーマを分かりやすく説明するものです。

講座名

「化学物質と私たちの暮らし」

埼玉県マスコット
「コバトン」
「さいたまっち」



【内容】

身の回りで使われている「化学物質」にはどのような性質があるか、化学物質のリスクとは何か、上手に付き合っていくためのノウハウなど、知っておきたい化学物質の基礎知識について分かりやすくお話しします。
オンラインでの講義も可能です。

【対象】

業界団体、企業、地域団体、市町村などが主催する
おおむね 10 人以上の集会が対象です。

【日時】

御希望に応じ、平日夜間、土・日・祝日も行います。
1 講座 60 分程度です。

【費用】

無料（会場費用や受講に係る通信費などはお申込者側の御負担となります。）

【申込み】

埼玉県電子申請・届出サービスから申込みが出来ます。
開催予定日の 1 か月前までにお申し込みください。



埼玉県 電子申請・届出サービス

上の画像をクリックすると申込みができます。

◆ 分かりやすいパンフレット

パンフレットの画像をクリックするとダウンロードページに移動します。

かんたん化学物質ガイドシリーズ

発行：環境省

私たちの生活に身近な化学物質と環境リスクについて、5 種類のパンフレットで楽しく学ぶことができます。

- わたしたちの生活と化学物質
- 乗り物と化学物質
- 洗剤と化学物質
- 殺虫剤と化学物質
- 塗料・接着剤と化学物質



化学物質と上手に付き合うために —化学物質のリスク評価—

発行：独立行政法人製品評価技術基盤機構

化学物質を使用するときの悪い影響が出る恐れを調べ、どの程度安全かを判断するリスク評価について解説しています。
リスク評価を通じ、化学物質とどのように付き合えば良いか考えることができます。



環境コミュニケーション活動ガイドブック

発行：埼玉県

環境活動の情報を発信するための手段と、その他日常的な活動の実施例を紹介しています。
事業者向けの内容が主となりますが、内容を理解するうえで参考になるガイドブックとなっています。



【参考】パンフレット中に掲載された化学物質について

トルエン

多種多様な化学物質の合成原料、油性塗料、印刷インキや油性接着剤などの溶剤として使用され、使用後は大気中に排出されます。また、ガソリンに微量に含まれ排気ガスとして大気中へ排出されます。

キシレン

化学物質の合成原料、油性塗料、接着剤、印刷インキや農薬などの溶剤やシンナーなどに使用されています。使用後は大気中へ排出されます。また、ガソリンに微量に含まれ排気ガスとして大気中へ排出されます。

ヘキサン

接着剤、塗料やインキなどの溶剤として使用され、使用後は大気中に排出されます。また、ガソリンに微量に含まれ排気ガスとして大気中へ排出されます。

エチルベンゼン

プラスチックや発泡スチロールの原料となるスチレンの原料、油性塗料や接着剤、インキなどの溶剤に使用されています。使用後は大気中へ排出されます。また、ガソリンに微量に含まれ排気ガスとして大気中へ排出されます。

ポリ（オキシエチレン）アルキル＝エーテル

台所用合成洗剤などとして使用されています。使用後は河川などへ排出されます。

ジクロロベンゼン

家庭で使用される衣料用の防虫剤やトイレの消臭剤などに使用されています。使用後は大気中へ排出されます。

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

洗濯用合成洗剤などとして使用されています。使用後は河川などへ排出されます。

2-アミノエタノール

家庭用や業務用の洗剤や洗浄剤の中和剤、金属腐食防止剤などに使用されています。使用後は河川などへ排出されます。

ポリ（オキシエチレン）＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム

シャンプー、合成洗剤として使用されています。使用後は河川などへ排出されます。

問合せ先

埼玉県環境部大気環境課規制・化学物質担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL：048-830-2986

E-Mail：a3050-08@pref.saitama.lg.jp

URL：https://www.pref.saitama.lg.jp/a0504/kagaku.html



埼玉県 化学物質



埼玉県マスコット「さいたまっち」